

コンクリート面及び押出成形セメント板面

18章7節：耐候性塗料塗り(DP) Vフロン#200上塗

新設仕様No.
DNT-新設・7-3-01

使用材料一覧表

規格 一般名称		商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	JASS 18 M-201 ^{※1} 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	Vフロン#200プライマー	F☆☆☆☆	Vフロン#200プライマー シンナー
2	JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 1級	Vフロン#200上塗	F☆☆☆☆	Vフロンシンナー

塗装仕様

表18.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ【A種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 乾燥	-			素地を十分に乾燥させる。
2 汚れ、付着物除去	-			素地を傷つけないように除去する。
3 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-2	全面に塗り付けて平滑にする。
4 吸込止め	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	-	全面に塗り付ける。
5 パテしごき	JASS 18 M-202	反応形合成樹脂パテ	2液形エポキシ樹脂パテ	全面にしごき取り平滑にする。
6 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する。

(注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程3を省略する。
2. 工程4のシーラー及び工程5のパテは、上塗り塗料製造所の指定する製品とする。
3. JASS18 M-201及びM-202は、日本建築学会材料規格である。

表18.7.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り ^{※1}	Vフロン#200 プライマー	白	主剤70: 硬化剤30	5～20	刷毛 ローラー	0.08	16時間以上
				5～30	スプレー		
2 中塗り ^{※2}	Vフロン#200 上塗	各色	主剤90: 硬化剤10	10～30	刷毛 ローラー	0.14	12時間以上
				20～30	スプレー		
3 上塗り	Vフロン#200 上塗	各色	主剤90: 硬化剤10	10～30	刷毛 ローラー	0.10	-
				20～30	スプレー		

(注) 1. 素地ごしらえの種類は、塗料その他の欄による。

18.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ
コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえは表18.2.6による。
ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

18.7.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り
コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りは、表18.7.3により、種別は特記による。

※1標準仕様書では下塗りとしてJASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラーと記載されていますが、弊社としては「Vフロン#200プライマー」をお勧めします。

※2標準仕様書では中塗りとしてJASS 18 M-405 常温乾燥形ふっ素樹脂塗料用中塗り(常温乾燥形ふっ素樹脂塗料用中塗りおよび弱溶剤系常温乾燥形ふっ素樹脂塗料用中塗り)を記載されていますが、弊社としては「Vフロン#200上塗」をお勧めします。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。